

# いwasaki 明子の議会報告



いのちを大切に、誰もが「生まれてきてよかった」と思える千葉市をつくるため、活動を続けています。  
(みつわ台中・市立千葉高出身)

## 今回はこんな議案が成立しました

### 全ての小中学校にエアコンを設置

～2020年夏までに完了予定～



市内の全ての小中学校普通教室等への、冷暖房設備の設置が決定。まずは2020年度完了にむけた「実施設計」の補正予算がつきました。小学111校、中学55校の工事スケジュールは様々なため、保護者へ丁寧な説明を行うなど、理解と協力にむけた取組を要望しました。

### 熱中症対策は冷水機と大型扇風機で

～2019年夏の暑さを乗り切るために～

エアコン稼働までには時間がかかるため、各校に冷水機と体育館用大型扇風機の導入が決まりました。しかし子どもたちの健康を守るためには、それだけでは対策が不十分です。体操服登校や、温・湿度の指針に沿って屋外活動の可否を判断するなど、学校現場でできる「ソフト的な工夫」で、熱中症予防に努めるよう要望しました。



### 事業系ごみ削減に新しい仕組みが

～ごみに対する意識改革に期待～

小規模でもごみを大量に出す事業者(飲食店など)は、廃棄物の減量計画書の提出や、廃棄物管理責任者の届け出等が義務化されることになりました。定期的な立入調査でごみ減量の具体的な方策をアドバイスし、事業者のごみに対する意識改革を図るよう、市に求めました。

若葉区には、清掃工場から出た焼却灰等を埋める最終処分場があります。今の場所は約11年後にいっぱいになる見込で、新しい場所を探さなければなりません。暮らしてごみは切り離せないものですが、ごみになる物を買わないもらわない(リデュース)、繰り返し使う(リユース)、再利用する(リサイクル)を、皆が少しずつでも意識して、最終処分場の寿命を延ばしましょう。

リデュース、リユース、リサイクル。



## 議会質問で市政へ提案

### 石炭火力計画が中止に!



#### ☆市民が力を合わせて勝ち取った結果

さる12月27日、千葉市中央区蘇我地区に計画されていた「石炭火力発電所」の検討を中止すると、事業者(JFE・中国電力)が発表しました。

市民ネットワークでは、CO2をたくさん排出し、地球温暖化の原因となる石炭火力発電所計画が発表されたあと、2017年の3月から、議会の一般質問で毎回取り上げ、計画に疑問を投げかけてきました。

また、市民団体の「蘇我石炭火力発電所建設計画を考える会」と連携し、臨海部を中心とした地域にお住いの方々や、蘇我駅・千葉みなと駅前を通行する方々へ、反対運動への賛同を呼びかけました。

今回の計画中止は反対運動を続けてきた私たちにとってはうれしいニュースであり、まさに市民の力によるところが大きかったと思います。

#### ☆エネルギーの地産地消ができる社会をめざして

これからのエネルギー供給は、再生可能な方法にシフトしていくべきです。

例えば、市原市が発祥の地である「ソーラーシェアリング」は、農地の上にソーラーパネルを設置し、農業と発電を同じ場所で行うという仕組みです(写真)。

電気といえば大きな発電所でたくさん作り、送電線で遠くまで運ぶというのをイメージしがちですが、これからは身近な地域単位で発電所を作り、電気の地産地消を進められるよう、提案していきたいと考えています。

